

検討単語の確定について 2018年 第2回本委員会

No.	単語	意味付け	参考単語	各班	結果	表現の仕方	本委員会 結果	検討経緯
1	母子健康手帳	母子健康手帳とは、母子保健法に定められた市町村が交付する手帳のことである。一般的に母子手帳という。	①<母・お母さん(わ1-17?学I-O)> ②<こどもB(わ1-25・学I-O)>	北海道 東北 関東 北信越 東海 近畿 中国 四国 九州	保 ● ● ● ● ● ● ● ●	<母>+<子>+<手帳> (現在使っているの…)「母」+「手帳」 「母」+「妊娠」+「産む」+合わせた両手を開いて手帳の形 母+子+手帳 「生まれる」+「手帳」 母+手帳 母+子供+手帳 /母/ + /子ども/ + /手帳/ 「妊娠」+「手帳」(妊娠時に手帳が交付される)	母子 ● 組み合わせ 手帳 保 保存手話 ● 組み合わせ	まずは、「母子」「手帳」の表現をどうするか検討。母子…<母>+<子どもB> →<子どもB>を両手でするか、右手のみですか、多数決の結果、片手での表現を採用 手帳…「身体障害者手帳」などの「手帳」 一般的に「母子手帳」で使われている。 ⇒<母子>+<手帳> ※北海道、四国班の案を参考
2	里帰り出産	妊婦が現在暮らしている地域を離れて、実家付近の病院で出産することをいう。	<里帰り(2009-64)>	北海道 東北 関東 北信越 東海 近畿 中国 四国 九州	保 ● ● ● ● ● ● ● ●	<実>+<家>+<生まれる> (特に必要ないと思うが…)「本当」+「家」「出産」 「実家」+「場所」+「産む」 実家+帰る+生まれる 「里帰り」+「生まれる」 本当+家+生まれる 実家+出産 里帰り(Ⅱ430) + /出産/ 「実家」+「帰る」+「出産」	● 組み合わせ	9班の案を見ると、<実家>+<生まれる>が大半。→<里帰り>(生まれる)+<帰る>がある。→<生まれる>が2回あるのは、紛らわしいのでは。→しかし、今ある手話を使いたい。 ⇒<里帰り>+<生まれる> ※東海、四国班の案を採用
3	予防接種 ワクチン	予防接種⇒病気の予防のために、毒力を弱めた病原菌などを、体内に入れて抵抗力をつけることです。予防接種には、BCG・MR・4種混合など、法律に基づいて市区町村が主体となって実施する定期接種と、おたふくかぜ・インフルエンザなど、希望者が各自で受ける任意接種があります。	①<予防(わ3-193)>(交互に出す) ②<接種>	北海道 東北 関東 北信越 東海 近畿 中国 四国 九州	● ● ● ● × ● ● ● ●	<予防>+<注射> ワクチンは手話辞典Ⅱ掲載あり…P276 「ワクチン」+「注射」 「断る、拒む」+右手の親指を立て伸ばした人差指の先を腕につける(予防接種は注射だけではないので)ワクチン:学習辞典ⅡP276をそのまま使う 予防+注射 「防ぐ」+「注射」(ワクチンは既出) ×(本に載っている)日本語-学習辞典ⅡP276 予防+注射 わ指文字+薬 /予防/ + /注射/ ※ワクチン 右手指文字/わ/を左掌で回す(薬 アレンジ) 「防ぐ」+「注射」・「ワクチン」	● 組み合わせ ※ ワクチンは既存	「予防接種」の9班の案を見ると、<予防>+<注射>、<防ぐ>+<注射>の表現に分かれている。→注射の表現が一般的だが、<接種>の手話があるので、それを使いたい。 ⇒<予防>+<接種>(指先を折り曲げた<ワ>を左上腕にあてる)
4	生業 (扶助費)	生業⇒くらしを立てるための仕事。なりわい。生活保護制度における扶助の一つで、生活保護受給世帯や、その予備軍とされる生活困窮世帯の収入増加や自立を助けるための給付金。「生業費」、「技能修得費」、「高等学校等就学費」、「就職支度費」の四つがあり、原則として現金で給付される。(参考:生活保護制度の8つの扶助費⇒生活扶助・教育扶助・住宅扶助・医療扶助・介護扶助・出産扶助・生業扶助・葬祭扶助)	①<生活> ②<職業・仕事> ③<助ける>	北海道 東北 関東 北信越 東海 近畿 中国 四国 九州	◎ ● ● ● ● ● ● ● △	<生活>+<仕事> (意味的に?だが…)「生活」+「助けられる」 「自立」+「支える」+立てた親指に「お金」を払う 正業:生活+仕事 扶助費:加える+助ける+払う 「仕事」+「扶養」+「お金」 生きる+仕事 生業→仕事 生業扶助費→自立+助ける+お金 /生活/ + /仕事/ 「仕事」+(「援助」+「お金」)	扶助 ラベルの追加 生業 ● 組み合わせ	9班の案に<生きる>+<仕事>と、<生活>+<仕事>がある。→<生活>+<仕事>の方が意味に合う。 ⇒<生活>+<職業・仕事> ※<生活>+<職業>の表現は北海道、北信越、四国の案を採用。 合せて「扶助」を検討。 ⇒<助ける>にラベルを追加
5	ネグレクト	ネグレクト(英:neglect)とは、児童虐待、障害者虐待、高齢者虐待のひとつ。子供に対するネグレクトは育児放棄、育児怠慢、監護放棄とも言う。また、ペットの飼育放棄に対しても指すことがある。	①<お世話> ②<放棄> (両手で<捨てる>)	北海道 東北 関東 北信越 東海 近畿 中国 四国 九州	◎ ア ◎ ● ● ● ● ● ●	<いじめ>+<捨てる> 「虐待」+両手で「捨てる」 胸の前で軽く握った両手を勢いよく右斜め前に開く(捨てる) 世話+放棄 「責任」+「捨てる」(放棄) = 世話+責任+捨てる(ネグレスト) 捨てる様子 世話+しない /育てる/ + 両手肩に置き、放棄する様 「育てる」+「棄てる」 (子供に対するネグレクトが多いため)	養護 ラベルの追加 ネグレクト ● 組み合わせ	ネグレクト、ネグレスト2つ言い方がありますが、今回は「ネグレクト」を検討。(ネグレクトをする人のことをネグレストという。英語で〜ストは〇〇人という意味がある)「育児」の手話はあるが、手話の数をできるだけ減らして簡潔にしたい。 ⇒<育てる>+<放棄>(両手で<捨てる>。捨てる方向は左右どちらでも可) ※北信越班の案を採用 合わせて「養護」の表現を検討。 ⇒<育てる>と同じ。
6	老健施設	介護老人保健施設の略。介護老人保健施設とは、介護保険が適用される介護サービスで、在宅への復帰を目標に心身の機能回復訓練をする施設。	①<老人> ②<保健>	北海道 東北 関東 北信越 東海 近畿 中国 四国 九州	◎ ● ● ● ● ア ● ● ●	<老人>+<養う>+<施設> 「老人」+「元気」+「施設」 「年寄り」+「訓練、トレーニング」+「施設」 老+再起+施設 「老」+「リハビリ」+「施設」 高齢+保健+施設 老齢+回復+施設 /老人/ + /保健/ + /費/ 「老人」+「回復」+「施設」	● 組み合わせ	「老健」と略称で使われることが多いので、「老健(施設)」としてはどうか。9班の案を見ると、<老人>+<回復>の表現が多いが、委員からは左手<老人>と右手<保健>の合成はどうか?との意見が出た。多数決で、<老人>+<保健> ⇒<老人>+<保健> ※四国班の案を参考
7	在宅ケア	寝たきり老人・独居老人・長期療養患者・心身障害者など、社会的援護を必要とする人々に対して、施設に収容せず在宅のまま福祉・医療サービスを提供すること。	<ケア(2010-51)>	北海道 東北 関東 北信越 東海 近畿 中国 四国 九州	● ● ● ● ● ア ● ● ●	<居る>+<家>+<ケア> 「家」+この中を指さし+「世話」 左手で屋根をつくりその下に右手を出して「ケア」を表現する 家いる+世話 「在宅」+「ケア」 家+住む+ケア 家の中+お世話 左手/家/を表し 右手/居る/ + /ケア/ 「家」+「居る」+「世話する」	● 組み合わせ	在宅…公開されていないが、以前に確定された手話がある。→<家>の左手の下で指先を上に向けた右手を置く ⇒<在宅>+<ケア> ※関東班の案を参考にした
8	償還払い	介護サービスや医療サービスの利用者が、サービス提供事業者から費用をいったん全額支払い、その後自治体などに申請して払い戻しを受けること。		北海道 東北 関東 北信越 東海 近畿 中国 四国 九州	ア ○ ア ◎ ◎ ◎ × ● ア	<左手「交」>+<支払う→戻る> 前方にお金を「払う」+右上方から「入金」 左手で「お金」を払い、右手で別の場所から「お金」をもらう 払って上からもらう 左手で「払う」の後、右手で「戻る」(同時ではない) 払って、後からもらう様子 × 斜め前に/払う/ + 正面から/返金/ 「お金を払う」+「お金が戻る」	◎ 創作手話	「償還」は、いったん払ったお金が、行政機関から払い戻されること。位置関係を決めた方が表現しやすい。 ①自分を行政機関に見立てる ②右側をサービス利用者 ③左側を業者とする。 ①から③へ費用を支払い、次に①から②へ払戻金を支払う ⇒右側前方から左側前方へ右手<払う>+お腹の前から右側前方へ右手<払う>

検討単語の確定について 2018年 第2回本委員会

No.	単語	意味付け	参考単語	各班	結果	表現の仕方	本委員会 結果	検討経緯
9	こうがくりょうようひ 高額療養費	医療費の自己負担が一定額を超えた場合、保険から払い戻して支給される超過分。	<格安 (2014-80)>	北海道 東北 関東 北信越 東海 近畿 中国 四国 九州	○ ○ ● ◎ ◎ ◎ ● ● ア	<超える>+<左手を右手で左へ動かす>+<金額> 左掌を平らに下を向け、右手で「超える」+「払う」 「医療」+指先を右に向けて置いた左手の親指側から立てた右手を上に出す（超える）+「お金」 医+置いて上から少しもらう 基準を超える+超えた分が戻ってくるしぐさ(還元金の流用) 医療+超える+部分 医療+支払+払い戻し /高い/ + /療養/ + /費/ 「医療」+「過ぎる」+「お金が戻る」	高額ア レンジ ● 高額療養費 組み合わせ	「高額」の9班からの案を見ると、<超える>の表現が多いが、お金が極端に高いことを表すことが重要なので、両手を使って<（お金が）高い>を表現する。 ⇒<高額> (<格安>の逆の動作)+<医>+<お金>
10	しんりょうほうしほくさいしよ 診療報酬明細書 (レセプト)	病院が健康保険などの報酬を公的機関に請求するために提出する書類。診療報酬請求明細書。	<メニュー (わ9-90・学I-325)>	北海道 東北 関東 北信越 東海 近畿 中国 四国 九州	● ● ● ● ア ● ● ◎ ●	<診察>+<左手を曲げた右手を当てる>+<紙(四角の形)> 「医療」+「表」 「診療」+「お金」+左手「L」の間から右手の開いた4指を右に動かす 治療+払う+細かい+表 手のひらを横に、指文字「れ」を2回横にずらす(カルテの流用) 医療+点数+書類 医療+明細+用紙 手首に/レ/ を当てる + /請求/ 「医療」+「お金」+「請求」+「紙」	明細 アレンジとの 組み合わせ レセプト アレンジとの 組み合わせ 診療報酬明細 書 組み合わせ	まずは「明細」の表現を検討。 ⇒<細かい>+<メニュー (わ9-90)>の右手を右側に払う 次に「レセプト」の表現を検討。 ⇒右手首に<レ>をあて+<明細> 「診療報酬明細書」はレセプトのこななので<レ>を利用できないか検討。 ⇒<診察>+<レセプト>
11	フリースクール	既存の学校教育制度の外にあり、子どもの自由・自主性・個人差などに配慮し、児童・生徒中心主義の教育を行う学校形態の総称。オルタナティブスクール。「広義には、不登校の児童・生徒を受け入れるさまざまな機関・団体も含まれる」	<フリー (2006-39・学I-402)>	北海道 東北 関東 北信越 東海 近畿 中国 四国 九州	◎ ● ● 保 ● ● ● ◎ ●	<フリー>+<スクール> 「自由」+「学校」 「自由」+「勉強」 自由+勉強 「自由」+「学校」 自由+学校 自由+学校 /自由/ + /学校/ 「自由」+「学校」	● 組み合わせ	9班の案を見ると<フリー>+<学校>、<自由>+<学校>、<自由>+<勉強>に分かれる。 ⇒北海道班の<フリー>の表現がいい。 ⇒<フリー>+<学校> ※北海道班の案を採用
12	としけいかく 都市計画	都市計画とは、本来的には、都市の持続的な維持・発展を図るために、都市の営みを空間的かつ計画的に制御・コントロールするための総合的な公的・社会的システムである。	<都会 (2016-29)>	北海道 東北 関東 北信越 東海 近畿 中国 四国 九州	◎ ● ● ◎ ● ● ● ◎ ●	<右手で指文字「と」>+<左手で指文字「し」>+<計画> 指文字<ト><シ>+「計画」 人差指と中指を立てた両手を向い合せ、交互に上下に動かす(都市を表す)+「計画」 都市※小さめ+丸い+計画 指文字「と」「し」+「計画」 町+計画 都会+設備 左手/シ/ (都市)+ 右手人差し指で線を引く(計画) 「都市」+「計画」	都市B ラベルの追加 計画B ラベルの追加 都市計画 ● 組み合わせ	「都市」はビルが立ち並んでいるイメージがある ⇒<都会 (2016-29)>にラベルを追加 <計画>の手話はありますが、手話の数をできるだけ減らして簡潔にしたい。 ⇒<設計>にラベルを追加(千を引く動作を2回) 「都市計画」 ⇒<都会・都市B>+<設計・計画B>
13	ほうかご 放課後 ディサービス	放課後等ディサービスは、障害のある就学児向けの学童保育のようなサービスをいう。	<放課後A (学I-405)> <ディサービス (2005-16)>	北海道 東北 関東 北信越 東海 近畿 中国 四国 九州	● ● ● ◎ ● ア ● ● ●	<放課後>+<等>+<ディサービス> 「放課後」+「ディサービス」 「放課後」+「一日」+「サービス」 A:六+下+ディサービス B:学校+後+ディサービス 「放課後」+「ディサービス」 6時間目+後+ディサービス 六つ+下+一日+サービス /放課後/ + /等/ + /ディサービス/ 「放課後」(九州の手話・6限の後)+「ディサービス」	放課後B 組み合わせ 放課後C 合成 放課後ディ サービスA・B ● 組み合わせ	「放課後」の9班の案を見ると2つの動作が見られる。 ⇒放課後B…<勉強>+<あとB> 放課後C…左手<6>の下で<上下B>の右手を下に払う 「放課後ディサービス」… ⇒「A」…<放課後B>+<ディサービス> 「B」…<放課後C>+<ディサービス>
14	とくていぬにんちりよう 特定不妊治療	タイミング法や人工授精を試みても、妊娠に至らないときに行う治療。体外受精、顕微授精などの生殖補助医療をいう。	<特別> <妊娠A (統①-56・学I-140)> <治療 (医②-77)>	北海道 東北 関東 北信越 東海 近畿 中国 四国 九州	○ ○ ● ◎ ● ● ● ◎ ●	<特別>+<定める>+<妊娠>+<育てる> 「性」+つまんだ右手をもってきて+「治療」 右前で丸めた左手に右手人差し指をあて、そのままお腹に当てる+「妊娠」+「治療」 妊娠+なかなか+治療 「特別」+「妊娠」+「治療」 特別+妊娠+治療 特別+妊娠+目標+治療 /特別/ + /受精/ + /治療/ 「特別」+「妊娠」+「なかなか」+「治療」	● 組み合わせ	不妊の手話がない →<妊娠><難しい>はどうか →男性不妊もある、女の手話だけ使うのはどうか。 →<特別>+<治療>+<方法>の案も出たが、妊娠のこととは分からない。今回は意味に合わせた表現に。 ⇒<特別>+<妊娠A>(小指)+<治療(医②-77)>
15	まどおや 里親	児童福祉法に基づき通常の親権を有さずに児童を養育する者のこと。	<育てる (わ10-129)> <両親 (わ8-12)>	北海道 東北 関東 北信越 東海 近畿 中国 四国 九州	◎ ○ ● ◎ ● ● ● ◎ ●	<左手「親」>+<代わる>+<親> 左人差し指を体の前に移動し、右手で「育てる」 「育てる、養育する」+「親」 もらって赤ちゃん赤ちゃん+親 「仮」+「親」 子どもを引き取って育てる様子 親+代わり /預かる/ + /親/ 「赤ん坊」+「育てる」+「親」(但し、頬に触れない)	● 組み合わせ	9班の案を見ると、 →<養子>は家に親指を入れる表現 →<うそ>+<親> →<仮>+<親> はどがある。 →シンプルな表現がいいのでは。 ⇒<育てる>+<両親> ※関東班の案を採用
16	こども食堂 しよくどう	子どもやその親、および地域の人々に対し、無料または安価で栄養のある食事や温かな団らんを提供するための日本の社会活動。	<こどもB (わ1-25・学I-441)> <食堂 (わ5-38)>(食べる+場所)	北海道 東北 関東 北信越 東海 近畿 中国 四国 九州	● ● ● ◎ ● ● ● ◎ ●	<こども>+<食堂> 「子ども」+「食堂」 両手で「こども、子」+「食堂」 子供+奉仕員+食+場所 「こども」+「食堂」 子ども+食べる+場所 子供+食べる+場 /子ども/ + /食堂/ 「子供」+「食事」+「与える」+「場所」	● 組み合わせ	9班の案を見ると、似た表現が多い。 ⇒<こどもB>(指の間を広げた両手掌を前に向けて、顔の脇で左右に振る)+<食堂>(食べる)+<場所> ※東海、近畿班の案を採用
17	シビリアン コントロール	職業軍人でない文民が、軍隊に対して最高の指揮権を持つこと。軍部の政治への介入を抑制し、民主政治を守るための原則。文民統制。	<市民運動 (わ2-26)>	北海道 東北 関東 北信越 東海 近畿 中国 四国 九州	ア ア ● ◎ ● ○ × ◎ ●	<一般>+<右手親指を立て、上へ上げる>+<コントロール> 右親指を右から中央に移動し、「指導」 「政治」+「軍」+両手で「指示、指図」 軍を抑えて指導 「市民」+「コントロール」 民間 人々+統制する /文/ + /民/ + コントロール 「首相」+「押さえる」	市民 組み合わせ シビリアンコントロール ● 組み合わせ	市民が軍の上に乗ってコントロールするという意味だが、<市民>+<統一>などになると、市民をコントロールするという逆の意味になるから難しい。<重鎮>の表現を使えないか。 ⇒<市民>+<重鎮>(左手甲に右手親指をのせ、同時にゆっくりうやうやしく下ろす) ※東海班の<市民>を参考 「市民」の単独ラベルがなかったで合わせて確認。 ⇒<市民運動>の<市民>(市)+<人々>

検討単語の確定について 2018年 第2回本委員会

No.	単語	意味付け	参考単語	各班	結果	表現の仕方	本委員会 結果	検討経緯
18	噴出物 <small>フンシュツブツ</small>	衝突によりえぐられたり、火山活動によって噴出されたりしてばら撒かれた物質。衝突による噴出物が、その惑星や衛星から外に飛び出してしまふこともある。	①<噴火> ②<物>	北海道	●	<噴火>新しい手話2017 P29 +<物>	● 組み合わせ	北海道班、東海班、四国班、九州班の表現が分かりやすい =><噴火>+<物> ※北海道、東海、四国、九州班の案を採用
				東北	●	左手で火口形を作り、摘まんだ右手を上を開く（「噴火」）+親指人差し指で丸を作った両手で飛び散る様		
				関東	◎	5指をつぼめた両手の指先をぶつけ合わせ、左手を残し開いた右手を指を動かしながら前方に出す		
				北信越	●	「物」+「火山」		
				東海	●	「噴火」+「物」		
				近畿	◎	片手を火山に見立て、もう一方の手で噴出を表現		
				中国	◎	山の形+噴く+広がる		
				四国	●	吹き出す様子 + 「物」		
				九州	○	「噴火」+「物」		
				19	噴煙 <small>フンエン</small>	火山活動により、火口から煙のように噴き上がる火山ガスや細粒の火山灰。		
東北	●	左手で火口形を作り、摘まんだ右手を上を開く（「噴火」）+右手で煙の様子						
関東	◎	5指をつぼめた両手の指先をぶつけ合わせ、左手を残し開いた右手を指を動かしながら上げていく						
北信越	●	火山口+煙						
東海	●	「噴火」+「煙」						
近畿	ア	片手を火山に見立て、もう一方の手で煙を表現						
中国	◎	山の形+煙						
四国	●	吹き出す様子 + 「煙」						
九州	○	「噴火」+「煙」						
20	噴石 <small>フンセキ</small>	火山が爆発的な噴火を起こすときに火口から噴出する火山弾や山体を構成する岩石の破片の総称。 [補説]気象庁では、風の影響を受けず弾道を描いて飛散するものを「大きな噴石」、それより小さく風に流されて降るものを「小さな噴石」と表現している。	<噴火>				北海道	●
				東北	●	左手で火口形を作り、摘まんだ右手を上を開く（「噴火」）+両手で岩が両脇に落ちる様子		
				関東	◎	5指をつぼめた両手の指先をぶつけ合わせ、左手を残し2指で○を作った右手を斜め前方に動かす		
				北信越	●	石+爆発		
				東海	●	「噴火」+「石」		
				近畿	ア	片手を火山に見立て、もう一方の手で石を表現		
				中国	◎	山の形 + 噴く + 石		
				四国	●	吹き出す様子 + 両手2指で輪を作り交互に飛び散る様（石の意）		
				九州	○	「噴火」+「石」		
				21	爆発的噴火 <small>バクハツテキフンカ</small>	火山の噴火のうち、火山ガスの急激な膨張、および多量の火山砕屑物の噴出を伴う現象。火山爆発ともいう。マグマが比較的浅い場所に到達したとき、マグマ中に溶け込んでいた揮発性成分（特に水）が急激に気体となり膨張して破裂することがおもな原因と考えられる。	<噴火>	北海道
東北	●	左手で火口形を作り、摘まんだ右手を上を開く（「噴火」）+両手で爆発						
関東	◎	5指をつぼめて指先を合わせた両手を同時に左右に開き少し揺らす。左手2指の間から握った右手を上へ飛び出させて開く（噴火する様子）						
北信越	ア	火山口 + 爆発 + 噴火						
東海	●	山の下で握った手を開き、「噴火」						
近畿	ア	火山が爆発する様子						
中国	◎	山の形+強く噴く						
四国	●	拳をぶつける様 + 交互に飛び散る様子						
九州	○	「噴火」を繰り返す						
22	マグマ溜まり <small>マグマドマリ</small>	深部から上昇してきたマグマが浮力を失って停滞すると考えられている場所。マグマが分化して組成を変えたり、混合したりする場でもある。	<マグマ>					北海道
				東北	○	左手で火口の形、右手5指で指先を上へ下方で動く		
				関東	◎	軽く丸めた左手の下からつぼめた右手を勢いよく突き入れ、一旦止まってから右手を上へ飛び出させて開く		
				北信越	●	火山口+火バクバク		
				東海	○	山の下で「マグマ」、少し上へ上げて「マグマ」		
				近畿	ア	火山の中でマグマが止まる様子		
				中国	◎	山の形+マグマ		
				四国	ア	「マグマ」 + そのまま右手を回す		
				九州	○	「山」の下に指文字「マ」		
				23	溶岩 <small>ヨウガン</small>	岩石の溶融状態にあるものおよび地表に噴出して固結したものの総称。火山活動によって地下の岩石の溶融体が噴出する場合、溶融体および固結して地表に出た岩石をともに溶岩という。	<噴火>	北海道
東北	○	左手で火口の形、右手が左手甲に沿って流れる						
関東	◎	軽く丸めた左手の中から右手を出して開き、左手の甲に沿って下へ動かす（溶岩が山肌を流れる様子）						
北信越	●	火山口+噴火流れる						
東海	●	「噴火」+「岩」						
近畿	ア	火山から溶岩が流れている様子						
中国	◎	山の形 + 長れ + 固まる						
四国	ア	流れ出る様 + 右手指を曲げ手首をひねる（岩）						
九州	○	「噴火」+溶岩が下る様子						
24	地殻変動 <small>チカクヘンドウ</small>	地殻に起こる急激な、または緩やかな動き、およびそれによる変化の総称。地殻運動ともいう。規模はさまざま、広大な地域の陸地の隆起や沈降、これに伴う褶曲や断層運動、火山の噴火などかなり長期間にわたる大規模なものから、地震によって短期間に急激に起こる土地の隆起や沈降、長期間の水準点の観測によって確かめられるようなものまである。	<ひずみ(2015-13)>					北海道
				東北	ア	掌を下に向けた両手を揃え、右手を手前に引く		
				関東	◎	掌下向きで両手の親指側を付けて互い違いに小刻みに動かしながら左右に離す		
				北信越	●	地 + ねじれる		
				東海	ア	「プレート」を流用し、手のひらの上を人差し指と親指でなぞり、地面がずれる		
				近畿	ア	両手のこぶしでぶつかる様子		
				中国	●	地 + ずれる		
				四国	◎	両手「コ」を重ねる+下にある手の指先動かす		
				九州	○	「土」+「ずれる」		
				25	二酸化硫黄 <small>ニカウイキダイオキサイド</small>	硫黄や硫黄化合物を燃やすと得られる、刺激臭のある無色の気体。粘膜を冒し、有毒。石炭・石油の燃焼後の排ガスに含まれ、公害の原因の一。硫酸の製造原料、漂白剤などに使用。化学式 亜硫酸ガス。無水亜硫酸。自然性も助燃性もない無色、刺激臭のある気体。融点-75.5℃、沸点-10℃。水に対する溶解度22.8g/100ml(0℃)、4.5g/100ml(50℃)。化学式はSO2。	<二酸化炭素>(新しい手話IV P92)+<黄色> <「二酸化炭素」同様に化学記号> 左手でS、右手でO2	北海道
東北	○	<「二酸化炭素」同様に化学記号> 左手でS、右手でO2						
関東	●	「黄色」+「ガス」						
北信越	●	ローマ字「S」+O2						
東海	●	指文字「S」「O」、指で「2」 ※酸素の流用						
近畿	◎	指文字「S」「O」 数字の2を手話化						
中国	●	SO2指文字						
四国	●	左手「S」「O」 + 右手で「2」空書						
九州	○	化学式SO2を指文字で表す						

検討単語の確定について 2018年 第2回本委員会

No.	単語	意味付け	参考単語	各班	結果	表現の仕方	本委員会 結果	検討経緯
26	本震	同じ地域で時間的に集中して起こる地震群のうち、最大のもの。前震・余震に対していう。主震。	①<本格(新II-136)> ②<地震>	北海道 ● 東北 ● 関東 ● 北信越 ● 東海 ● 近畿 ● 中国 ● 四国 ● 九州 ○	<本当>+<地震> 「地震」+「本当」(強く) 「最高」+「地震」 本番+地震 「本当」+「地震」 本番+地震 本当+地震 「本当」+「地震」 「本当」+「地震」	本番B 保存手話 ● 本震 ● 組み合わせ	「本番」が意味が合う ⇒<本番B>…以前から使われている表現がある。 (<本格(新II-136)>の動作をアレンジして顔の頬あたりから額の中央に勢いよく立てる) 「本震」 ⇒<本番B>+<地震> ※北信越、近畿の案を採用	
27	群発性	名詞「群発」(ある期間、同じ区域に集中して起こること。または地震などが、局地的に、しきりに起こること。)に接尾辞「性」がついたもの。	①<群発> ②<性格・〇〇質>	北海道 ア 東北 ● 関東 ● 北信越 ◎ 東海 ● 近畿 ア 中国 ● 四国 ● 九州 ○	つまんだ左手を上げながら開き、次につまんだ右手を上げながら開く+<性> 「集中」を広め+「起こる」 「繰り返す」(指文字「エ」を円を描きながら下に動かす)+「地震」 短い短い短い 「いきなり」を3回+「性」 人差し指を起こしながら、2回動かす 島+起きる ×数回 「同時」+両手で「場所」繰り返し+(「性」) 「地震」+「繰り返す」	群発 保存手話 ● 組み合わせ	まずは、「群発」の表現を検討。「群発」は、繰り返すという意味がある。 →以前から使われている『人差し指を伸ばした右手を位置を変えながら小さく手首を返す』表現がある。 →繰り返す表現は何回? →3回くらい表すのがよい ⇒人差し指を伸ばした右手を位置を変えながら小さく手首を返す(3回くらい) 「群発性」 ⇒<群発>+<性格・〇〇質> ※東海班の案を採用	
28	巨大地震 →大規模地震	地震の中でとくに規模が大ききものを指す。学術用語ではないが、日本地震学会の発表や各種教科書・論文でもしばしば使われる。一般的にはマグニチュード8以上のものを巨大地震、モーメント・マグニチュードでMw9程度以上あるいはMw9クラスのものを超巨大地震と表現することが多いが、これは厳密に定義づけられているわけではない。	<地震>	北海道 ● 東北 ● 関東 ● 北信越 ● 東海 ● 近畿 ア 中国 ● 四国 ◎ 九州 ○	<大きい>+<地震> 「大」(ゆっくり強く)+「地震」 「超える」(水平に置いた左手の手前で右手を突き上げる)+「地震」 最高(トップ)+地震 「大きい」+「地震」 大きく「地震」表す 地震+すごい 左手2指半円 右手「大きい」(巨大)+「地震」 「大きい」+「地震」	大規模 ラ ラベルの追加 ● 小規模 ア アレンジ ● 巨大地震・大規模地震 ● 組み合わせ	「大規模」は<大きくする・増幅>と同表現に。 ⇒<大きくする・増幅(2017-80)>にラベル追加 「大規模地震」 ⇒<大きくする・増幅・大規模>+<地震> 合わせて「小規模」を検討。 ⇒<大きくする・大規模>の逆の動作	
29	直下(型)地震	内陸部にある活断層で発生する、震源の浅い地震。規模は小さくても、被害が大きくなりやすい。人の住む土地の真下で発生する地震。阪神・淡路大震災(兵庫県南部地震)、新潟県中越地震など。	<地震>	北海道 ● 東北 ● 関東 ● 北信越 ア 東海 ● 近畿 ア 中国 ● 四国 ア 九州 ○	<地震>+下へ下がる 「地震」+その両手をそのまま下に落とす 掌下向きの左手の小指側で右手人差し指で下を差す+両手を揃えて上に跳ね上げてから「地震」 落として横から地震 「地面」を上へ上げた後、「地震」 短く両手を上下にパッと動かす 上げる+地震 「地下」+その上で両手上下に動かす(地震アレンジ) 「落ちる」+「地震」	● 組み合わせ	まずは「直下」の表現を検討。 ⇒掌を下に向けた左手の下から右手<下C>(右手2指を直角に伸ばし、人差し指を下に向けて下げる) 「直下(型)地震」… ⇒<直下>+<地震>	
30	地震計	地震による地表の振動を記録する器械。振り子を用い、地面の動きに対する相対運動を記録するもの。	<地震>	北海道 ○ 東北 ● 関東 ◎ 北信越 ● 東海 ● 近畿 ア 中国 ● 四国 ◎ 九州 ○	左手<地震>+右手人差し指を上下させ、右へ移動する(グラフ) 「地震」+曲げた右人差し指を下に向け左右に揺らす(「計」) 「地震」+左手小指側で右手指文字「ヌ」を1度垂直に跳ね上げ、右へ小刻みに上下させながら動かす 地震+1本指を振りながら描く 「地震」+「計る」(目盛り) 地震計の形を表現 地震+調べる 「地震」+右手人差し指をジグザグに動かす(計器の針の動き) 「地震」+針の振れる様子	● 組み合わせ	ポリグラフ(ウソ発見器)の針の動きを使ってはどうか? ⇒<地震>+人差し指を折り曲げた右手指先で右へ波線を書く	
31	空振計	火山の噴火により起こる空気の振動を測定する器械。(空振は、火山噴火などにより発生した空気の急激な圧力、変化が、大気中を周囲に伝わる現象。)	<地震>	北海道 ○ 東北 ● 関東 ◎ 北信越 ● 東海 ● 近畿 ア 中国 ● 四国 ◎ 九州 ○	左手<空気>+右手人差し指を上下させ、右へ移動する(グラフ) 「空気」+曲げた右人差し指を下に向け左右に揺らす(「計」) つぼめた両手指先を付け勢よく開く。両手を離して指先上で向い合せ、軽く振動させる 空+成績のような描き方 「振動」+「計る」(目盛り) 片手を筒にみなして、もう一方の片手を針と表現 斜め+調べる ◎ 左手上方でひらひらさせる+人差し指ジグザグ ○ 「噴火」+針の振れる様子	◎ 創作手話	空気の振動を分かりやすく表現できないか? →右手2指を直角に伸ばし、人差し指を下に向けて下げる表現はどうか? ⇒右手2指を直角に伸ばし、人差し指を下に向けて下げる+人差し指を折り曲げた右手指先で右へ波線を書く	
32	傾斜計	地殻変動に伴う地盤の傾斜変化を測定する計器。地震の前兆としての異常地殻変動を把握したり、火山噴火に先立つ火山体の膨張・隆起を観測する目的のほか、地球潮汐の変動の測定にも用いられる。	<地震>	北海道 ○ 東北 ○ 関東 ◎ 北信越 ● 東海 ● 近畿 ア 中国 ● 四国 ◎ 九州 ●	甲を上に向けた左手で上から下へ斜める+右手人差し指を上下させ、右へ移動する(グラフ) 右手甲を上にし、斜めに傾け、「計」 掌下向きで両手を揃え、左手を軽く5指を曲げながら少し上に動かす+右手を掌下向き、指先を左手方向、腕を水平に置いて肘を上下させる ○の形+1本指を傾斜の形 「地面」を傾け、「計る」(目盛り) 傾斜計の形を表現 斜め+調べる ◎ 左手斜め上に動かす+人差し指ジグザグ ● 左手「傾斜」右手「調べる」	◎ 創作手話	「計器」の表現を「地震計」「空振計」と同じでいいか? →体重計もデジタル化しているから、将来を見据えてデジタル的な表現にしては? →「傾斜計」は飛行機の機器にもある。どちらにも使える表現を検討。 ⇒両手<コ>形を向き合わせて交互に上下させ、残した左手の横で、人差し指を立てた右手手首を計器の針が振れるように左右に動かす	
33	長周期地震動	大きな地震で生じる、周期(揺れが1往復するのにかかる時間=数秒以上の)ゆっくりした長い大きな揺れ。高層ビルなどの大型構造物が共振しやすく、従来の免震構造・制震構造では対策が十分ではない可能性が指摘されている。	<地震>	北海道 ア 東北 ● 関東 ● 北信越 ● 東海 ○ 近畿 ア 中国 ● 四国 ● 九州 ○	<地震>+左手拳に右手親指を丸くなでる(ゆっくり) 「地震」+左手指先を上へ立てて揺らし、右手動かす 「長い」+立てて向い合せた両手を平行のまま左右に揺らす(建物の揺れ) 長い+振動 「地震」の後、建物をゆっくり揺らす 両手をゆっくり動かす 地震+揺れる+情報 「長い」+指を回す(周期)+「地震」 「地震」+ビルがゆっくり揺れる様子	ア アレンジ	9班の案を見ると、ビルが揺れる表現が多い →長くゆっくりと揺らす表現を使った組み合わせの表現を検討。 →組み合わせ表現にこだわらず、今ある手話を使って、一発で表せる方法はないか? ⇒<地震>を大きくゆっくり表す	

検討単語の確定について 2018年 第2回本委員会

No.	単語	意味付け	参考単語	各班	結果	表現の仕方	本委員会 結果	検討経緯
34	プレート境界	地球表面を覆う「プレート」と呼ばれる岩板同士の境をいう。(プレート境界型地震とは主に大陸プレートと海洋プレートの境で、沈み込むプレートに引きずられて生じたひずみが元に戻ろうとする働きで起きる。)阪神大震災のような直下の活断層で起きる「活断層型」とは異なる。東日本大震災はプレート境界型。		北海道	ア	両手指を下に折り曲げた両手の指をつけ合わせる + 線を引く	● 組み合わせ	<プレート>も<境界>も手話はある。 ⇒<板・プレート(わ10-97)>+<境界(新II-30)> ⇒東海班の案を参考(災害関連標準手話ハンドブック-11)
				東北	◎	<災害関連手話を変え>左手甲の上に右手先を乗せる		
				関東	◎	左手甲に右手指先を当て下に押し込む。左手を残し、右手人差指で境にジグザグの線を引く		
				北信越	◎	両手で指文字の「コ」をプレートの形から。		
				東海	×	既出		
				近畿	ア	プレートが入り込む様子		
				中国	●	プレート+落ちる		
				四国	●	「プレート」+右手で境界線を引く		
				九州	保	「プレート」(災害関連手話ハンドブック)+「境界」		
35	地盤沈下	① 地下水や天然ガスの採取、もしくはは自然的な原因などにより、地表面が沈下する現象。 ② 今まで保持していた勢力が衰えること。		北海道	●	<左手「家」>+<右手「地震」>+下へ動かす	● 地盤沈下 組み合わせ	まずは「地盤」の表現を検討。 →<陥没(2016-47)>の表現を参考にするか? ⇒指先を前に掌を下に向けた左手と親指を4指を伸ばした右手を並べて置き、右手を右に動かす 「地盤沈下」… ⇒<地盤>+掌を下に指先を向き合わせた両手を下げる 合わせて「地面」も検討。 ⇒指先を前に掌を下に向けた左手と右手<土地>(5指の指先をこすり合わせながら右に動かす)の合成
				東北	○	両掌を上にし、右手だけを落とす		
				関東	◎	指先を前に両手を揃え、右手を下げる		
				北信越	ア	両手で「地」+片手で下		
				東海	○	「地面」のあと、両手の手のひらを下に下げる。		
				近畿	◎	地面が沈む様子		
				中国	●	沈む		
				四国	◎	両手指先を合わせる + 右手を下げる		
				九州	○	「地面」+「下がる」		
36	大規模地震対策特別措置法	大規模地震対策特別措置法とは、大規模な地震による災害から国民の生命、身体及び財産を保護するため、地震防災対策強化地域の指定、地震観測体制の整備その他地震防災体制の整備に関する事項及び地震防災応急対策その他地震防災に関する事項について特別の措置を定めることにより、地震防災対策の強化を図り、もつて社会の秩序の維持と公共の福祉の確保に資することを目的として制定された法律である。略称は大震法。		北海道	●	2つの表現があります ①<大>+<地震>+<対策>+<法>②DVD動画は<急ぐ>+<地震>+<法>	● 組み合わせ	気象庁の記者会見などで使うことを考えると、そのまま組合せた表現でいい ⇒<大きくする・大規模>+<地震>+<対策>+<特別>+<措置>+<法>
				東北	●	「大」+「地震」+「法」		
				関東	●	「大きい」+「地震」+「静か」+「計画」+「法」		
				北信越	ア	略の手話「大」「震」「法」		
				東海	●	「大きい」+「地震」+「対策」+「特別」+「措置」+「法律」		
				近畿	●	「大きな地震」「対する」「特別」「措置」「法」		
				中国	●	地震+大きい+対策+法		
				四国	●	「広い」+「地震」+「対策」+「特別」+「措置」+「法」		
				九州	○	「大」+「地震」+「法律」		
37	ラニーニャ	エルニーニョと反対に、東太平洋赤道域で月平均海面水温が数年に一度、数カ月にわたり平年よりも低くなる現象。スペイン語で「女の子、少女」の意。エルニーニョほど顕著ではないが世界各地に天候異常をもたらす、日本ではやや暑い夏、寒冬になりやすい。	<エルニーニョ(2006-6)>	北海道	●	左拳を上にした手を身体の前に置き、右手人差し指を下に下す (2006・P6、「エルニーニョ」)の逆	ア アレンジ	9班の案を見ると、ほとんどが同じ表現 ⇒<エルニーニョ(2006-6)>の逆の動作(左手拳は上向き) ※ほとんどの班の案を採用
				東北	ア	<「エルニーニョ」参考> 右人差し指を下す		
				関東	ア	エルニーニョの最初の形から、右手人差し指を下げる。		
				北信越	ア	エルニーニョの正反対 気温が下がる		
				東海	ア	「エルニーニョ」を流用し、逆の動きをする。		
				近畿	ア	エルニーニョの人差し指を下へ引く		
				中国	×			
				四国	ア	エルニーニョの右手の動きを 下へ		
				九州	○	「海」+「温度」「下がる」(「エルニーニョ」の反対)		
38	竜巻	主に積乱雲から垂れ下がる漏斗状の激しい空気の渦巻き。米国では陸上竜巻をトルネードと呼ぶ。最大瞬間風速は1999年5月3日、米国オクラホマ州で観測した秒速142m。樹木や家屋が倒壊したり、自動車などが高く舞い上がることもある。1年当たりの陸上竜巻の発生数は、地球上で約1000個、米国では約800個、日本で約20個。日本では太平洋沿岸部で特に多い。台風や寒冷前線が接近する時に、暖気や寒気が強く流入して大気の状態が不安定になると発生する。		北海道	×	(学習辞典ⅡP447 掲載あり)	◎ 創作手話	既存の手話(わ8-114)はソフトクリームみたいに見えるので、別表現「B」を検討。 →<つむじ風(2016-42)>の表現はある →上から渦を巻きながら下げていく表現はどうか? ⇒<竜巻B>指先を上に向けた右手を上方から回しながら下ろして指先を閉じる ※四国班の案を採用
				東北	×	(学習辞典ⅡP447 掲載あり)		
				関東	ア	上に向けた右手人差し指を繰り返し円を描きながら下方に動かす(「つむじ風」の逆方向)		
				北信越	◎	両手で1本の指を片手に上を廻す		
				東海	×	既出		
				近畿	◎	渦が上から下へ渦巻く様子		
				中国	保	人指+回る		
				四国	ア	右手をひねりながら勢よく下ろして行く		
				九州	保	(学習辞典ⅡP447 掲載あり)		
39	土砂崩れ	急傾斜地にある土砂が、地震や豪雨などによって急激にずれ落ちること。	浸食(2016-46)	北海道	ア	左腕から右手の土砂などを流れるように落ち滑る様子(参考:新しいⅢP75「土石流」)	ア アレンジ	9班の案を見ると、微妙に異なる表現。 →<土石流(新Ⅲ-75)>の表現を確認 →<雪崩(わ10-90)>の表現を確認 →北海道地震の厚真町の土砂崩れのような山肌が削られる表現を検討。 ⇒<浸食(2016-46)>の2動作目(左手を伸ばす)を、山肌が削り取られるように斜めに表す →東海班の案を参考
				東北	●	「土」+左手甲の上に右手を流す		
				関東	●	両手で「土」を表し、掌下向きで開きながら前方斜め下へ出す		
				北信越	●	土+崩れ		
				東海	○	左手の甲を右手の手のひらを当て、下にすべらせる		
				近畿	ア	土がくずれる様子		
				中国	保	流		
				四国	ア	左手甲の上で「土」+流れていく様		
				九州	○	「山」+「崩れる」		
40	高波	「高波」は、強風が原因で起きる「高い波」のこと。気象庁では「波浪注意報・警報の対象になる程度の高い波」と定義しています。災害を引き起こす可能性のある「高い波」のこと。	<高い>	北海道	ア	<左手「家、建物」を乗り越え、右手5指を開いて左へ動かす>	● 組み合わせ	9班の案にある<満潮(2013-56)>を使うか? →防波堤を超えるような高い波のことなので組み合わせでいいのでは? ⇒<高い>+その位置から<波(わ1-99)>(右手のみの表現)
				東北	●	右手で高い波を作り、左手甲を乗り越える		
				関東	◎	両手を同時に波打たせながら左斜め前へ出す		
				北信越	ア	地面+波(2回)		
				東海	●	「風」+「波」		
				近畿	ア	高い+波		
				中国	保	高い波		
				四国	●	左手「コ」(「満潮」参考)+右手「波」		
				九州	○	「風」+「波」		
41	高潮	強風や気圧低下によって海水面が異常に高まり、高波を伴って陸地に押し上げてくること。	<高い>	北海道	ア	右手<津波>が左手「家、建物」を押し出すように流す	◎ 創作手話	「高波」の表現ときちんと区別する必要がある。 →海面そのものが高まる表現を検討。 ⇒指先を向き合わせた両手を上げて、その位置から両手で<波>を表す →関東班の案を採用
				東北	●	右手甲で波を作り、左手の位置まで上げる		
				関東	◎	掌下向きで両手を揃えて同時に上げ、左斜め前へうねらせながら出す		
				北信越	○	海+高い		
				東海	○	右手で水面を表し、徐々に上に上げ、左手の上に合わせる		
				近畿	ア	だんだん高く+あふれる		
				中国	保	海+差		
				四国	●	左手「コ」(「満潮」参考)+右手「コ」上げていく		
				九州	ア	海水が上がって堤防を越える		